

会社名 ピープル株式会社

上場取引所 東 スタンダード

コード番号 7865

(https://www.people-kk.co.jp/)

代表者 取締役兼代表執行役 桐淵真人

問い合わせ先: 執行役 飛田留美子 TEL: 03-3862-2768

◆売上高(単月) 前年対比

(金額単位:千円)

3月度(単月)	前期: 2025年1月期	当期: 2026年1月期	前年同月比
乳児・知育・構成玩具カテゴリ	63,273	57,114	90.3%
メイキングトイカテゴリ	1,199	420	35.1%
その他(遊具・乗り物・育児等)	16,282	3,352	20.6%
海外販売・ロイヤリティ収入	18,422	7,244	39.3%
合計	99,176	68,131	68.7%

2～3月度(累積)	前期: 2025年1月期	当期: 2026年1月期	前年同期間比
乳児・知育・構成玩具カテゴリ	119,370	107,082	89.7%
メイキングトイカテゴリ	3,047	1,901	62.4%
その他(遊具・乗り物・育児等)	26,265	7,791	29.7%
海外販売・ロイヤリティ収入	34,676	20,138	58.1%
合計	183,359	136,912	74.7%

◆3月度発売新商品・リニューアル商品

当月は新商品およびリニューアル商品の発売はありません。

◆3月度および直近TOPICS

●世界経済の不確実性が高まり、国内でも主に食品など物価の高止まりが消費者心理に影響し、家計の節約志向が強まる中、玩具市場では春以降の売り場リニューアルに伴い、キャラクター玩具を中心とした在庫一掃のセール品が多く並び、それが当社の乳児・知育・構成玩具カテゴリの前年同月比減の要因となりました。売り場が整った後の次月度は4月発売新商品の動向を注視してまいります。

●直近のメディア掲載情報

- 2025/4/3【プレスリリース】「1curiosity」日・英・台にて発売決定！

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000219.000045493.html>

- 2025/4/6【WEB】毎日新聞デジタルにて、新製品「1curiosity」が紹介されました。

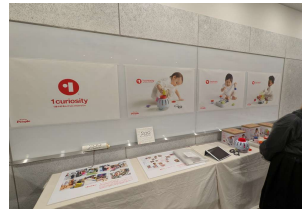
2025年5月中旬より日本・英国・台湾での発売を予定している新製品「1curiosity」のプレス向け展示会(4/2～4/4@神田スクエア)を開催。海外にまで拡大した「赤ちゃん観察」からの開発プロセスにメディアの方からも高い関心が寄せられました。<https://mainichi.jp/articles/20250403/k00/00m/100/179000c>

- 2025/4/7【新聞】日本経済新聞夕刊の「人間発見」にて当社代表の桐淵真人のインタビュー記事が連載されました。

2025年4月7日から11日までの5日間にわたり、同紙の人気コーナー「人間発見」にて桐淵のインタビュー記事「子どもは最高の「先生」」が連載されました。

日経新聞「人間発見」デジタル版はこちらから(有料会員限定)

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO87863090X00C25A4EAC00/>



■ 第3回「投資家向け会社説明会」の動画を配信しております。現在取り組んでおります成長戦略につきまして、代表者よりご説明する内容です。当社ホームページのIR情報 <https://www.people-kk.co.jp/investorrelations/> に説明会動画を掲載しておりますので、ぜひご視聴ください。当該紙面資料、「第2回投資家向け会社説明資料 パーパス経営の実践とロードマップ」(PDF)も公開しております。

昨年および一昨年度、事業終了など抜本的な改革により収益改善を図りました。事業終了により確保したリソースを新事業開発チームに最も多く割り当てつつ、新事業をスムーズに、スピーディに創出する新たな仕組みづくりを、中期的な視点に立ち実施しています。直近ではパーパスのキーワード「子どもの好奇心」を軸に8つの新事業チームが進行しており、その「好奇心事業」第一弾のローンチを2025年春(2026年1月期)に計画しております。

一方、このローンチに向けて、当社の取り組みを広く認知していただくことが、商品ブランド育成に重要と考え、広報活動を積極的に行っております。また、2022年より活動を開始した当社「ピープル赤ちゃん研究所」は当社のコアコンピタンスである「赤ちゃん観察視点」を社内外に伝えることを目的とした活動を展開しており、母親、父親向け「赤ちゃんをあげようワークショップ」を主活動とし、地方自治体や教育機関とのコラボレーションも実施しております。これら中期を見据えた施策を行いつつ、短期的な収益性改善策として、以下のような活動を継続的に行っております。

①既存ロングセラー商品のリブランディングによる、販売数の底上げ

- ・シリーズ内の新商品の発売キャンペーン

- ・周年イベントの開催(2026年1月期: やりたい放題40周年、ピタゴラス33周年、お米のおもちゃ15周年)

②PR、IR活動にリソースを割き、情報発信力を強化

当社の活動状況は、随時当社発信のnoteでもお伝えしております。 https://note.com/people_pr

(ご参考)業績予想(2025年3月18日公表)

2026年1月期第1四半期(2025年1月21日～2025年4月20日)業績予想

	2026年1月期第1四半期 業績予想 (百万円)	前年同期間比(%)
売上高	286	75.1
営業利益	△97	—
経常利益	△97	—
四半期純利益	59	—